

KLS

Selected Papers 4

Selected Papers from the 46th Meeting of
The Kansai Linguistic Society

2022

関西言語学会

目次

目次	iii
招待講演	
日本語「ノダ文」の情報構造	金水 敏 1
研究発表	
近代から現代に至る逆接を表す接続詞の使用変化	
—「けど類」と「コピュラ+けど類」の比較を中心に—	胡 蘇紅 13
知覚表現としてのガスル構文とヲシテイル構文	
—主に知覚主体の存在をめぐって—	板垣浩正 29
チャハルモンゴル語における複合語アクセントの規則化	金 正琳 43
日本語の分裂文の統語特性	森山倭成 57
自他対応をもつ動詞における自動詞と他動詞の使用比率に基づく分析	
—動詞対の形態的特徴に着目して—	新谷知佳 73
中国語における3種の否定疑問文の音声的特徴	孫 爽 89
「維持」を表すアスペクト形式の日中対照	
—アスペクト形式が担う機能領域の広狭の観点から—	山田祐也・堀江 薫 107
ワークショップ	
コーパスを使用した多様な対照研究	123
	オーガナイザー・司会：古賀悠太郎 指定討論者：建石 始
日本語の「X+過ぎる」と中国語の“过于+X”の比較	
—書き言葉コーパスの量的調査に基づいて—	陳 冬姝 124
コーパスから見る「数の一致」について	
—「これら(の)」と“这些”を例に—	程 莉 125
対照研究の比較ペアをどのように探すか	
—連用修飾フレーズ“仔细VP”を例に—	太田匡亮 126
コーパスから見る動詞受身形の使用実態	古賀悠太郎 127
シンポジウム	
言語学におけるコミュニケーション学をめぐって	129
	シンポジウム代表・司会：龍城正明
コミュニケーション学から見た言語分析再考	
—統語論とモダリティーを越えた分析—	龍城正明 130

コミュニケーション学から見た意味研究の課題と展望	
—オケージョンの意味論のアプローチ—	林 礼子 145
Japanese Prosody in Communication	Haruo Kubozono 165
コミュニケーション学から見た構文の統語・意味・文脈情報の相互作用	
—日本語「見つかる」の分析—	岸本秀樹 179
第46回大会プログラム（オンライン開催 2021年6月12日-6月13日）	193
寄贈図書	197
重複発表禁止に関して	198
<i>KLS Selected Papers</i> 投稿規程	199
<i>KLS Selected Papers</i> 執筆要項	200
関西言語学会会則	208
関西言語学会役員名簿	210